

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 12 月 9 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 1 4 0 1 4 0 0		
法人名	株式会社 日進開発		
事業所名	グループホーム「くにみの里」		
所在地	〒859-1325 長崎県雲仙市国見町戊 1449-416		
自己評価作成日	平成 23 年 10 月 31 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 1 月 10 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 12 月 2 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

「今日も笑顔で楽しく過ごしましょう」をスローガンに、1 日入居者様の笑顔と触れ合えることを楽しみとしています。人生の先輩であられる事を常に念頭に置き、尊厳を持った柔軟な声かけ対応に努めさせていただいております。

自然環境に恵まれた場所に建ち、半島一の低料金でありながらも質の高いサービスを提供し、地域に融合し住民にも親しみを持っていていただいている。

施設独自の委員会 (接遇マナー、事故対策、感染対策、車両管理、美化環境管理、拘束ゼロ) を設置し、より良い質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当ホームは、基本理念である「私たちは、介護サービスのあり方を認識し、入居される方の安心と尊厳のある生活を支援すべく日々努めます」に沿って、サービスの意義を、職員の目標やくにみの里応援歌の歌詞に解かり易く表現して唱和することで、利用者本位の支援に繋げて地域の中でその人らしく暮らし続けることの支援に努められている。

平成22年度より、GHくにみの里A、B、Cで独自に取り組まれている「拘束ゼロ委員会」において、車椅子誘導でも長時間の車椅子生活から離れて、ソファで寛いで頂いたり、言葉の掛け方等介護の専門性を高めて、「拘束」に対する意識の向上を図りたいと抱負を抱かれています。また、社内事業所においても更に意識の向上を図り、波及させる為にも議題の検討と資料の作成に尽力し、職員は事故対策や車両管理の委員会にそれぞれ所属され、利用者及び家族が安心して過ごして頂ける様に、サービスの意義をしっかりと踏まえて笑顔で支援に努められています。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>一人一人理念を理解しており、日々の実践に取り組んでいる。</p>	<p>業務前に理念を確認して、職員目標「今日も一日笑顔で始まり笑顔で終わる」や「くにみの里の応援歌」を唱和する事で実践に繋がられている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>年1回の里まつりに地域住民の参加を得ている。又、地域の行事などに参加し交流を深めている。民生委員、自治会長、自治体などの参加を得て、推進会議などで入居者の顔を覚えていただいている。</p>	<p>地域の中学校の福祉体験学習の受け入れや小、中、保育園の文化祭の案内にそって出かけたり、ディへ訪問時の踊りの鑑賞等の交流に努められている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>介護の相談所として窓口を開いており、地域の高齢者支援が出来る体勢を取っている。また福祉体験学習や介護研修の受け入れを行っている。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>開催毎にくにみの里の情報や取り組んでいる事を報告し意見をもらっている。講師を呼び介護や健康についての勉強会を行いサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は2ヶ月に1回を目途の開催で、議題内容を検討の上、同事業所の職員(栄養士)の助言等を頂いている。利用者及び家族は有意義な会議への参加を楽しみにされている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市の担当者の方に運営推進会議の参加をして頂き、情報交換を行うなど協力体制を作っている。</p>	<p>ほとんど、事務所との連絡が多いが、内容に応じて、管理者が直接出向いて相談や助言を得られている。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束0委員会をH22より立ち上げ、職員全員で拘束0を目指している。</p>	<p>長時間の車椅子生活をソファで寛いで頂いたり、転倒予防のベッド柵も安定と共に除去したり、言葉かけ等も職員相互の話し合いで取り組まれている。</p>	<p>H22年より拘束ゼロ委員会を立ち上げ取りくまれているが、更なる研鑽と職員の取り組みを期待したい。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングを開催し虐待防止に関し理解浸透に努めている。言葉での阻止もないように一緒に寄り添い落ち着きを取り戻されるような接し方をしている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>推進会議で取り上げ、職員も勉強し、家族へも理解をして頂けるようつとめている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結時には十分な説明を行い、解約又は改定時は文書を作成し、1人1人きめ細やかな説明をして同意を得ている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関には意見箱を設置しており意見要望にはすばやく対応し、ケアの向上に取り組んでいる。</p>	<p>利用者の嗜好調査や入浴拒否の方の家族より、言葉かけの協力を得られている。職員と家族の信頼関係の構築へ、電話連絡や広報便り家族への状況報告をされている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>業績会議や毎日の業務日誌にて職員の意見や提案を報告している。</p>	<p>毎月2回の職員ミーティングにおいて、職員の意見に沿った業務改善に努められている。職員は勤務体制を工夫して、自主外部研修も参加されている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>業務日誌等で意見を上げ報告している。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内を常に提示し研修に行くように勤めている。また、資格取得のための協力をしている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域の全ての施設が参加できる会議（国見町ケア会議）へ出席して情報交換をしている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談で生活状態を把握し、求めている事や不安な事などに耳を傾けながら信頼関係を築いている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面談時これまでの家族の苦勞や困っている事や不安な事や今までのサービス利用状況等聞き取りを行い関係づくりをしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族より状況を聞き取り支援の提案、相談をし、必要なサービスを速やかに提供するようにしている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意思や尊厳を尊重しながら職員が生活を支援すると共に、入居者自身も家事などに参加できる環境を作るよう努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃の状態を面会時や電話にて報告、相談すると共に、月に一度発行の里だよりにも状況を記載し、家族に今どういう状態かわかるようにしている。また面会に来ていただけるよう家族への声かけや、受診など職員と一緒に同行して頂いたりして、家族と共に入居者を支える支援をしている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の馴染みの店や散髪屋などへ行けるよう支援しており、知人や友人との交流も支援している。</p>	<p>結婚式や法事等家族の協力を得て、馴染みの方との出合いの機会を得られている。ディに出向いて、馴染みの方とのお話の機会も支援されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>居室にひきこもりにならないよう楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りを提供し、利用者同士の関係が上手くいくよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等で退所された方も見舞いに行ったり退院後の受け入れ等の相談をしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人との日々の関わり合いの中で情報収集したり、家族からも情報収集し思いや意向の把握に努めている。</p>	<p>利用者の「自分の足で歩きたい」との思いを、日常の歩行で筋力低下の保持に努められている。利用者の入浴介助時や食事中の会話で聞き取られている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や家族から些細な事でも聞き取り、日々情報収集に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>出来ない事より出来る事に注目し、日々の生活リズムや心身状態を全員が周知できるように記録している。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者と家族との日頃の関わり合いの中で思いや意見を反映させるようにしている。</p>	<p>会議で職員の意見を検討して、3ヶ月及び6ヶ月又は状況に応じて随時の見直しをされている。また、目標達成に向けた記録等を家族も理解できる様な記載に努められている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>職員の気づきや入居者の状態変化は個別の記録に記載し、全職員が確認できるようにしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>時間を見つけてはデイサービスなど訪問したり等切れ目のないサービスをしている。</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居前からのなじみの病院やなじみの店などへ行けるよう支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう継続し、症状に合わせ家族と同行しながら通院介助を行っている。また往診に来てもらっている方もある。</p>	<p>定期受診は、職員が対応して家族に報告をされている。かかりつけ医の継続に努め、往診や受診時直接家族への説明が必要な場合は、同席を依頼されている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週一回の看護師訪問にて状態の報告相談をしている。特変時にはすぐに連絡相談をし、対応の指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医師・看護師と情報交換しながら早期退院が出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向をふまえ、医師・看護師と連携をとり、安心して納得した終末期を迎えられるように、随時意思を確認しながら取り組んでいる。</p>	<p>看取りの経緯はなく、利用者の状況の変化に応じて、家族・看護師・医師・職員が連携を取りながら取り組まれているが、家族と医師の話し合いで入院されている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導を受け応急手当の研修を行っている。また夜間緊急時のマニュアルを作成しており、個々に連絡がつくように居室に掲示している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成して日中と夜間を想定し、利用者と共に避難訓練を行っている。地域の協力体制は自治会をお願いしている。緊急持ち出し袋を作り、個人情報や既往歴写真が記載されており、緊急時すぐに持ち出し可能にしている。</p>	<p>通報装置及びスプリンクラーの設置や緊急時の持ち出しファイルの作成と備蓄等体制は整えられている。消防署立会いと自主的な訓練も取り組まれている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切にし、さりげないケアを心がけたり、言葉かけには十分配慮している。	利用者一人ひとりへの配慮を怠らない様に、居室の開閉や失禁時の対応等、言葉かけを意識して支援されている。お便りは、利用者の家族に送付されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うまく意思表示が出来ない場合であっても、表情反応を注意深く観察し、キャッチ出来るよう努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者に何をしたいか尋ね希望に添えるよう支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が以前より着て頂いていた洋服など、毎日本人が選んで着ている。馴染みの床屋に行かれるか二ヶ月に一度の理容を選ばれたりしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者が食べたい物を聞いて献立をたてたり、本人希望の物を出したりし、食事が楽しくなるような会話をしながら一緒に食事をしている。	食前に口腔体操を実践して誤嚥予防に努め、利用者の状況に応じてミキサー・トロミ等対応されている。一週間の献立を各棟が交替で作成されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った食べやすい形態の工夫をして提供している。また、食事、水分チェック表を活用しながら、1人1人の状態を把握し、確保に努めている。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自分で出来る方には食後の口腔ケアの言葉かけを行い、出来ない方には口腔ケアの準備や介助をしたりと本人に合ったケアをしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を使用し尿意の無い入居者にも時間を見計らって誘導している。</p>	<p>利用者はリハビリパンツや布パンツの使用を維持できる様に、常に態度や様子を観察して、失禁を少なく手引きや声かけ誘導で自立支援に努められている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>歩行運動や、レクリエーションに体操を入れている。水分補給も摂取が少ない方にはゼリーを出したりしている。また薬による排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日等は決めておらず、利用者の体調気分に合わせて入浴実施をしている。</p>	<p>毎日入浴可能だが、一日おきに対応され、A棟にボディシャワーを設置している。入浴拒否の方には言葉掛けの工夫で清潔保持に努められている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努めている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者の薬の処方、効能、副作用の説明をお薬手帳にはさみ全職員が分かるよう徹底している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出や地域の行事参加等楽しみ事を入居者の方と相談しながら行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>行事などで外出をしたり、家族と話し合いながら自宅へ帰られたり、行きたい所へ行けるように本人の希望にそった支援をしている。</p>	<p>玄関前は広く、散歩や外気浴も楽しめる。天候や利用者の状況に応じて、買い物やドライブで気持ち良く楽しんで頂ける様に支援されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族に相談しながら、買い物に行ける機会を作りお金を所持したり使えるよう支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話をかけたい時はいつでもかけられるよう支援している。手紙のやり取りの支援も行っている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や居間は一体的な造りで全てが視界に入り落ち着いてくつろげる。季節感のある掲示物をしたり、居間から見える庭には季節の花を植えている。</p>	<p>和室は、見守りの必要な利用者の休息の場として活用されている。加湿器の設置等で室温を管理して、利用者は食後にソファで寛がれている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間では自分の好きな所に座られたり、居室は個室なので一人で好きに過ごせたり、気の合う者同士が互いに居室に訪問され自由に行き来ができる支援をしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していたものを持ち込まれ入居者の個性に合わせるよう配慮している。	居室にはトイレと洗面所があり、テレビやソファ・身近な小物の持込で生活感もあり、ゆったりと寛ぐことができる様に配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人解りやすい言葉でトイレやスイッチの表示をしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員それぞれが理念を理解し実践に努めている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事への参加と、ホームの行事への招待など、イベントを通しての交流を積極的に行っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談の場として門戸を開き、地域の高齢者支援ができる体制をとっている。また福祉体験学習や介護研修の受け入れも行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催毎にくにみの里の情報を報告。取り組んでいる内容についても報告し、意見をもらいサービスの向上へと繋いでいる。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者の方に運営推進会議への参加してもらうことにより、情報交換を行うなど協力体制を作っている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束0を目指している。不穏を察知したらさりげなく声かけし、一緒に行動するなどして安全面を考慮し、自由な暮らしを支えている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングを開催し、虐待防止に関し理解・浸透に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>権利擁護事業を活用し、入居者の支援を行っている。また運営推進会議の議題に取り上げて職員の勉強と家族へも理解していただけるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結時に十分な説明を行い、解約または改定時には文書を作成し細部まで説明するとともに同意を得ることとしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関には意見箱を設置し、意見・苦情・要望を受け入れ、素早く対応するなどケアの向上に取り組んでいる。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>業績会議・経営会議への出席や、業務日誌にて報告する等職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>業務日誌へ職員の意見や状況を記載し報告するなどし、職場環境や条件の整備に努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内は常に提示し、各職員へ参加を促している。また資格取得のための協力をしている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>全ての施設が参加できる地域のケア会議（国見町ケア会議）に出席し、同業他社と交流し情報交換とケアの質の向上につながるよう努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談で生活状態を把握し、求めている事や、不安に感じていることを理解しようと工夫している。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面談時に、これまでの家族の苦労や困っている事、不安な事や、今までのサービス利用状況等聞き取りを行い関係づくりをしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族から状況を聞き取り、支援の提案、相談をし、必要なサービスを速やかに提供するようにしている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意思を尊重し、職員が生活を支援するとともに、入居者自身も家事などに参加できる環境を作るよう努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>近況報告のみではなく、受診の同行を依頼したり、家族での外出をしていただくなど、職員からのみの支援ではなく、家族も介護に参加していただいている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>同一敷地内にあるデイサービスに来られている友人への面会など、自然に友人・知人との交流ができるようにしている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>居室へ閉じこもりがちにならないように、入居者同士の交流のたためりビングで過ごす時間が多くなるよう促している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等で退所された方も見舞いに行ったり退院後の受け入れ等の相談をしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人との日々の関わり合いの中で情報収集したり、家族からも情報収集し思いや意向の把握に努めている。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や家族からの聞き取りの中から些細な事でもくみ取り、支援のための情報収集に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>出来ない事より出来る事に注目し、日々の記録によって生活リズムを把握している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者と家族との日頃の関わり合いの中で、思いや意見を反映させるようにしている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>職員の気付きや入居者の状態変化は個別の記録に記載し、全職員が確認できるようにしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者と家族の状況に応じ必要な支援は迅速に対応し、本人家族満足して頂ける様努めている。デイサービス利用から入居された方など、友人と面会を支援するなどし、関係が途絶えないようにしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>商店や美容室など馴染みの店に行ったり、施設の買い物に同行してもらおうなど共に生活している者としての生きがいを失わない支援を行っている。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用前からのかかりつけ医での医療を受けられよう家族と協力し通院介助を行っている。また往診に来てもらっている方もある。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週一回の看護師訪問にて状態の報告相談をしている。特変時にはすぐに連絡相談をし、対応の指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医師・看護師と情報交換しながら早期退院が出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向をふまえ、医師・看護師が連携をとり、安心して納得した終末期を迎えられるように、随時意思を確認しながら取り組んでいる。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導を受け応急手当の研修を行っている。また夜間緊急時のマニュアルを作成しており、個々に連絡がつくように居室に掲示している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、昼間と夜間を想定し利用者と共に避難訓練を行っている。地域の協力体制については自治会をお願いしている。緊急持ち出し袋を作り、個人情報や既往歴写真が記載されており、緊急時すぐに持ち出し可能にしている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切にし、さりげないケアを心がけたり、言葉かけには十分配慮している。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うまく意思表示が出来ない場合であっても、表情反応を注意深く観察し、キャッチ出来るよう努めている。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者に何をしたいか尋ね希望に添えるよう支援している。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が以前より着ていた洋服など、毎日本人が選んで着ている。馴染みの床屋や美容室に行かれるか二ヶ月に一度の理容を選ばれたりしている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みを尋ねながら一緒に献立をたてたり、楽しくなるような会話をしながら一緒に食事をしている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った食べやすい形態に調理をして提供している。また言葉かけも行いながら栄養や水分摂取が確保できるよう支援している。

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自分で出来る方には食後の口腔ケアの言葉かけを行い、出来ない方には口腔ケアの準備や介助をしたりと本人に合ったケアをしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を使用し尿意の無い入居者にも時間を見計らって誘導している。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>歩行運動や、レレションに体操を入れている。水分補給も摂取が少ない方にはゼリーを出したりしている。また薬による排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日等は決めておらず、利用者の体調気分に合わせて入浴実施をしている。基本的に日曜日は入浴日にはしていないが、入居者の体調によって代替日とすることもある。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努めている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者の薬の処方、効能、副作用の説明をお薬手帳にはさみ全職員が分かるよう徹底している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出や地域の行事参加等楽しみ事を入居者の方と相談しながら行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>行事などで外出をしたり、家族の協力も得て自宅へ帰られたりと本人の希望にそった支援をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で小額のお金を管理して頂き、買い物に同行し自分で買い物を楽しんで頂く支援を行っている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話をかけたい時はいつでもかけられるよう支援している。また聴力の弱い方のために、代わって通話をすることもある。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や居間は一体的な造りで全てが視界に入り落ち着いてくつろげる。季節感のある掲示物をしたり、居間から見える庭には季節の花を植えている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間では自分の好きな所に座られたり、居室は個室なので一人で好きに過ごせたり、気の合う者同士が互いに居室に訪問され自由に行き来ができる支援をしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していたものを持ち込まれ入居者の個性に合わせるよう配慮している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人解りやすい言葉でトイレやスイッチの表示をしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3, 利用者の1/3くらい
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない